

第15回宇宙産業・科学技術基盤部会 議事要旨

1. 日時：平成28年3月31日（木） 13：00－14：35

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、青木委員、下村委員、中須賀委員、中村委員、山崎委員、渡邊委員

(2) 政府側

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、松井宇宙戦略室参事官、行松宇宙戦略室参事官、高見宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 部品に関する技術戦略の策定等について

資料1、2に基づき経済産業省から説明を行った。説明の後、以下のような意見等があった。(○：質問・意見等 ●：回答)

○部品及びコンポーネントに関する技術戦略ロードマップを共有する範囲には、宇宙以外の分野の企業も含まれるのか。

●優れた技術を持っている宇宙以外の関連分野の企業にも個別に共有する予定である。

○静止衛星の実証機会は貴重であるため、今後も継続して実証機会を確保する検討が必要である。

○新しい部品及びコンポーネントを開発するだけでなく、既に強みを持つ優位な部品及びコンポーネントの国際競争力をより強化することも重要であり、検討すべき。

○国が全ての戦略を考えるのではなく、民間が自らリスクを取って儲けることが出来る仕組みが必要である。国はそのような民間の取組をサポートすることが重要である。

○海外市場の獲得するためには顧客へのアプローチが重要であり、部品及びコンポーネントごとに検討することが必要である。

(2) 射場の在り方に関する検討について

射場に関する論点整理に基づき内閣府から説明を行った。説明の後、以下のような意見等があった。(○：質問・意見等 ●：回答)

○射場の在り方に関する検討を行う際は、射場の内部だけではなく、空港や道路等の射場周辺的环境も含めて検討することが必要である。

○抗たん性と、宇宙ベンチャー等の振興は相いれない観点であるが、今後どのように取りまとめていくのか。

●本年度は、特に制限を設けずに議論を行った。各論点間のトレードオフやシナジー効果も含めた検討については、今後進めて参りたい。

- (3) 内閣府宇宙開発戦略推進事務局への一元化と宇宙基本計画(本文)の閣議決定について
内閣府宇宙開発戦略推進事務局への一元化と宇宙基本計画(本文)の閣議決定について、資料3に基づき、事務局より説明を行った。

以 上